

令和5年国立市議会第4回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第4回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、総合防災訓練についてですが、ここ数年は暑さ対策として10月に開催しておりましたが、今年については関東大震災から100年目となる節目の年に当たるため、防災の日である9月1日に近い9月2日に開催いたしました。

会場については、初めての試みとして、都立施設である東京都立第五商業高校を会場といたしました。

訓練の形式は昨年と同様に、広く市民への啓発を行うため、多くの市民が来場しやすいようフェスタ形式で開催し、様々な防災に関する知識や体験などを行いました。

防災フェスタの中で、今年は消防署、消防団、自主防災組織など関係機関の連携により倒壊家屋及び高所からの救助演習を行い、市民の方にご見学いただきました。

午後4時30分から午後7時までと夕刻から夜間までの開催でしたが、1,000名近くの市民の皆様にご参加いただいたほか、災害時の応援協定を締結している民間事業者の方々や関係団

体、関係機関にご協力をいただき、訓練が実施できました。

会場となった東京都立第五商業高校を始め、ご協力いただきました皆様、市議会議員の皆様を始めご参加いただいた方に厚く御礼申し上げます。

今後とも訓練を継続し、いつ発生するかわからない災害に対応できるように努めてまいります。

それでは、9月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

市民表彰についてですが、11月5日に大学通りにて開催されました「第54回くにたち秋の市民まつり」におきまして市民表彰式典を挙行し、秋晴れのもと多くの市民の皆様、来賓の皆様にご参加いただきました。表彰を受けられた方々のご功績に改めて敬意と感謝の意を申し上げますと共に、市民及び議員の皆様をはじめとした関係者の皆さまのご協力に対し、深く感謝申し上げます。

次に、人権施策についてですが、11月10日から1ヶ月間「くにたち人権月間2023」を開催し、今年度は人権について

「かかわる」をテーマといたしました。11月25日には「人権フェスティバル」と題して1日を通して芸術小ホールを全館使用し、市内の人権分野の当事者の講演会やパネル展、民間企業や庁内関係部署の企画などを実施しました。今年度は合計29本の企画を実施し、参加された皆様と共に人権について考える場といたしました。

次に、LGBTQの施策についてですが、セクシュアル・マイノリティに対する職場の取り組みを評価する「プライド指標2023」に応募し、昨年度に続き、最高評価である「ゴールド認定」と複数の団体との連携事業を評価する「レインボー認定」のダブル受賞となりました。

今後も、当事者が働きやすい職場づくりを目指し、市内の事業所とも連携し取り組みを進めてまいります。

次に、行政管理部関係です。

第10回国立市消防団消防操法審査会についてですが、4年ぶりの開催となりました。

10月22日に北多摩二号水再生センターにおいて開催し、これまでの訓練の成果が十分発揮された審査会となりました。

市議会議員の皆様を始め、多くの来賓の方々のご出席に対

し、深く感謝申し上げます。

次に、健康福祉部関係です。

住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して1世帯当たり3万円の給付金を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金についてですが、10月31日までコールセンターの開設及び申請受付を実施し、合計8,457世帯に給付金を給付しました。

次に、国立市“社会を明るくする運動”全国刑務所作業製品即売会～リカバリーマーケット国立～の開催についてですが、旧国立駅舎東側広場にて、11月18日に“社会を明るくする運動”の一環として、刑務所作業製品の即売会を開催しました。当日は、約890点をご購入いただき、650,920円を売り上げました。

併せて、旧国立駅舎の展示室を使用し、立川警察署や防犯協会のパネル及びポスター、薬物乱用防止のための薬物標本やパネルの展示も行いました。

次に、敬老大会についてですが、9月18日の「敬老の日」に開催いたしました。コロナ禍を挟み4年ぶりとなった大会

は、くにたち市民芸術小ホールをメイン会場として、くにたち北市民プラザ、くにたち南市民プラザをインターネット中継で結ぶ形で開催され、3会場合計で515人の高齢市民の皆さまにご参加いただきました。式典ののちに東京大学の飯島教授からフレイル予防についてご講演いただき、参加いただいた方々にフレイル予防の大切さを改めて知っていただきました。

市議会議員の皆様を始め、多くの来賓の方々のご出席に対し、深く感謝申し上げます。

次に、第12回認知症の日イベントについてですが、10月22日に市民芸術小ホールにおきまして、会場展示の他、映画上映とシンポジウムを開催いたしました。第1部は、39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された^{たんのともふみ}丹野智文氏をモデルとした映画「オレンジ・ランプ」を上映し、92名の方が来場されました。第2部は、ピアサポート活動をされている、とうきょう認知症希望大使のさとうみき氏と、活動パートナーである慶應義塾大学大学院教授の^{ほったさとこ}堀田聰子氏による基調座談会、そして両氏を交え、市内の認知症の当事者やご家族がディスカッションをするシンポジウムを実施しました。第2部は会場での実施に加え、YouTube国立市チャンネルで配信

するハイブリッド開催とし、来場者は90名、ライブとアーカイブでのYouTubeの視聴回数は389回となりました。

次に、子ども家庭部関係です。

子ども長崎派遣平和事業の代替研修の実施についてですが、台風の影響で現地への派遣を中止とした子ども長崎派遣平和事業の代替として、都内に所在する平和関連施設への見学研修を実施しました。10月15日に江東区の東京大空襲・戦災資料センターを、10月29日に千代田区の昭和館と江戸城跡を見学しました。

次に、じどうかんまつりの実施についてですが、今年度はなくにたち未来共創拠点矢川プラスにおいて10月29日に実施しました。当日は、子ども自身が運営する2店舗を含む計6店舗が開店し、総勢258名の来場者で賑わいました。

次に、保育園なるほどフェアについてですが、10月15日及び10月22日の2日間にわたり、今年度はなくにたち未来共創拠点矢川プラスにおいて開催いたしました。市内の公私立保育園・認定こども園・家庭的保育事業所・小規模保育所の全てが2日間に分かれ出展し、市内の保育園等に入所を検討され

る保護者に園をご紹介します、入所申込の参考としていただくことを目的に開催しました。

10月15日は69世帯172名の方、10月22日は92世帯237名の方と大変多くの方にご参加いただき、各施設のパネルによる写真展示や動画などを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答えいただきました。

ご来場いただいた保護者の方々からは、「園の特徴などを直接聞くことができて良かった・様々な園の情報を一度に知ることができた・質問に丁寧に答えてもらえた」などのご意見をいただき、満足度の高いフェアとなりました。

次に、生活環境部関係です。

消費者啓発を目的として、2件のイベントを実施いたしました。

まず、10月7日に、市内消費者団体のくにたちのリサイクルを考える会と共催し、一橋大学南門付近にて、家庭内の不用品販売によるリサイクル推進を目的としたガレージセールを実施いたしました。当日は14の団体による、洋服、アクセサリー、小物等様々な出店があり、大学通りを通行する多くの方々が立ち寄られていました。

また、11月11日には、第31回となる国立市消費生活展を昨

年に引き続き開催しました。当日は市内消費者団体によるパネル展示や市民相談の実施、おもちゃの修繕、バルーンアート、ガレージセールなどバラエティに富んだ出展があり、農業まつりと同時開催であることも相まって、多くの人でにぎわいました。

次に、第54回くにたち秋の市民まつりについてですが、11月5日に盛大に開催されました。当日は、天下市との同時開催効果もあり、約9万9千人の来場者がありました。

会場では、市民パレードを始め、お囃子や各種団体による出店・企画のほか、特設舞台では吹奏楽やダンスなどが披露されました。

次に、国立市創業塾についてですが、創業に興味のある方、創業を志す方、創業して間もない方を対象に、ビジネスモデル策定を中心とした基礎知識から実務ノウハウまで体系的に学べる全5回の連続講座を開催し、10月28日の最終日には、受講者によるビジネスプランの発表を行いました。

次に、環境フェスタくにたちについてですが、今年は10月21日に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの参加団体の環境への想いを来場者に届けることができました。また、くにたちフードドライブでは、来場者より多くの食材の提供をいただき、子ども食堂や児童福祉施設等に届けることができました。ご協力をいただいた皆様に御礼を申し上げます。

次に、都市整備部関係です。

11月5日に開催した秋の市民まつりにおきまして、スクエア・ストレイト方式を用いた自転車交通安全体験教室を実施し、スタントマンによる交通事故の再現を体験することで、自転車での交通事故の防止の意識を高め、交通安全推進を図りました。

当日は、立川警察署のご協力のもと盛大に開催し、約200名の方にご参加いただきました。引き続き、市内における交通事故の抑制に努めていきたいと考えております。

次に、国立駅南口における工事仮囲いを活用した参加型ワークショップの開催についてですが、10月21日に旧国立駅舎西側のnonowa国立SOUTH新築工事仮囲いに子どもたちがアーティストと一緒に作品の一部に着色を行う参加型のワークショップを市や株式会社JR中央線コミュニティデザインなど

4者共同で開催いたしました。

当日は55人の子どもが参加し、アーティストと子どもたちが一緒に、花や植物のモチーフに着色を行い、アート作品を完成させました。

引き続き、国立駅周辺の魅力あるまちづくりを進めてまいります。

次に、富士見台地域重点まちづくり構想に示した重点プロジェクト「市民まちづくりプロジェクト100」に基づき、まちへの関わりを求める世代を対象に人とまちの関係性構築「新しい参加のカタチ」を目的に「クラブサバーブ」を実施しました。今年度は矢川プラスを会場として「まちのはじまりをカタチにする」をテーマに、市内外から30名が参加し、9月30日、10月14日で企画づくりを行ったのち、11月18日、現代版「ヤミイチ」としてまちを楽しむ出店イベントを実施しました。当日は約500名の方が会場に集まり、クラブサバーブ参加者と来場者の交流が生まれました。

次に、矢川駅周辺のまちづくりについてですが、矢川駅前において駅周辺の基盤整備に関して、10月20、21日の2日間にわたり「まちかど報告会」を開催するとともに、10月20日

から11月10日にかけてパブリックコメントを実施しました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の建設環境委員会に報告させていただきます。

次に、稲作体験学習についてですが、10月24日に城山さとのいえ前の体験水田において、市立小学校8校の5年生に米作りをはじめ農業に興味・関心を持っていただく機会となるよう、農業委員会の指導のもと稲刈り体験を実施いたしました。

次に、農業まつりについてですが、11月11日、12日の2日間にわたり開催されました。都市農業への理解促進と農業振興を図るため、地元農産物の品評会や「くにたち野菜」の直売のほか、野菜宝船の展示などが行われました。また、消費生活展が同時開催され、多くの市民の皆様にご来場いただきました。

次に、教育委員会関係です。

総合教育センターの開所についてですが、10月2日に、新たな教育施設として業務を開始いたしました。課長級の所長を置き、企画・立案機能も有しながら、学校、児童・生徒とその保護者の支援を一体的、効果的に実施できるように関連

業務を進めております。

次に、「国立市のフルインクルーシブ教育を考える会」についてですが、保護者や地域の方々向けとして第1回を10月11日に、第2回を11月3日に開催いたしました。両日ともに、元大阪市立大空小学校校長の木村^{やすこ}泰子先生にファシリテートしていただき、多様な考えをもつ関係者の思いや願いをくみ取りながら、目指す方向性について対話を進めました。

終わりに、本定例会には、令和5年度国立市一般会計補正予算案等21議案及び報告事項1件を提出させていただいておりますが、「一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案」等の計2議案につきましては、職員団体との交渉の成立など、条件が整い次第追加議案として提出させていただきます。また、「国民健康保険税条例の一部を改正する条例案」につきましては、準備が整い次第追加議案として提出させていただきます。

さらに、人権擁護委員の推薦についての人事案件につきましては準備が整い次第追加提出させていただきます。

最後に、国の補正予算に伴う低所得世帯等への支援を行う事業を含む物価高騰対策等に関する補正予算案につきましては、準備

が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和5年（2023年）12月1日

国立市長 永見 理夫